

# 麻生多摩美の森だより

麻生区市民健康の森 麻生鳥のさえずり公園

第12号 2006年3月31日発行 発行；麻生多摩美の森の会  
発行責任者；勝田 政吾 編集者；木村 信夫

## 仲間が交流 三つのフォーラム開かれる 副会長 平林 謙三

市民健康の森フォーラム in 中原

2月18日(土)恒例の市民健康の森フォーラムが中原区役所で開催され、7区の健康の森の会員ほか関係者が多数集まり、大盛況でした。

はじめに「自然の恵みを生かした芳香療法(アロマセラピー)」について川崎市立看護短期大学の小濱優子先生の講演がありました。次に各区の健康の森の活動報告があり、川崎区の“海風の森”では高橋純子さんが風力発電機が設置され埋立地が森に変わっていく様子を、幸区の“加瀬山”では小林恒勝さんが斜面を切り開いて畠を作る苦心談などを、中原区の“井田山”では青山芳之さんが森のほかに矢上川の清掃や合宿研修などの幅広い活動を、高津区の山田敏雄さんが地域の子もたちとの交流やホテルの飼育の話、宮前区では佐藤清忠さんがログハウスの作業小屋を作り屋根の上に草を植えた話などを、多摩区では石郷岡純さんが小学校を巻き込んだ“ひなた山ぼっこ祭”の話などに加え、相川みち子さんが作詞・作曲した“ひなた山音頭”を歌ってくださいました。

麻生区からは木村信夫さんが“多摩美の森”の概要と年間の活動の流れ、小学校の「総合的な学習」への協力、毎年秋に行われる植樹祭&収穫祭などの報告をし、最後に世代をつなぐ森にしたいという決意で話を締めくくりました。

その後、各区の活動状況を示すパネル展示を見学し、最後に交流会が行われました。

交流会では阿部市長の挨拶、中原区内の活動団体の報告のあと、環境局緑政部海野部長の音頭で乾杯、なごやかな歓談をしました。



<木の葉、花の写真集を阿部市長に紹介>

2006 里山フォーラム in 麻生

2月26日(日)は、生憎の雨にもかかわらず200名を超える方々が麻生市民館に集まり大盛況でした。

多摩美の森の会も幹事総出でサポート役を務めました。

フォーラムは夏菟(なつかり)太鼓の勇壮な演奏で始まり、飛び入り参加の阿部市長の挨拶のあと、東京農大の進士五十八教授が「“緑”と“農”の多摩ライフ」という題で講演され、第5種兼業農家というキーワードで市民全員が農作業に関わりを持つ事の大切さを説かれました。

麻生区で活動する団体からは、早野聖地公園里山ボランティア、西生田小学校5年生、千代ヶ丘小学校5年生、森もりクラブ、金程中学校科学部、和光大学環境ネットワークの発表がありました。

西生田小学校の児童は、昨年の秋、“多摩美の森”で勉強した樹木の名前や炭酸ガスの吸収量などについて自分たちでまとめた結果を発表しました。



<西生田小学校・5年生の発表>

その後“飛森谷戸の自然を守る会”の高木さん、川崎市経済局農業振興センターの古沢さん、里山フォーラムを代表して平林の3人が、事務局長の石井さんの司会でパネルディスカッションを行いました。

締め交流会では、周囲の壁に展示された各団体のパネルを話題に、麻生で採れた野菜などの味を楽しみ歓談しました。



<里山フォーラムパネルディスカッション>

---

## 第4回市民自治創造・かわさきフォーラム

3月11日(土)、12日(日)の2日間、第4回市民自治創造・かわさきフォーラムが「未来をひらく地域力」というタイトルのもと、麻生市民館で開かれました。

このフォーラムは毎年この時期に各区持ち回りで開かれてきました。

初日は午後から昭和音楽大学によるアトラクションのあと、牟田悌三さんの「大事なことは、ボランティアで教わった」と題した講演、かわさき元気メッセ(本フォーラムのポスターセッション)、交流会があり、2日目の午前中は“麻生を知る”エクスカージョンを行い、区内の2ヶ所を約2時間かけて歩きました。

1つは柿生駅に集まって修広寺 葉積緑地 九郎明神社 丘の上に広がる古沢の畠 麻生警察署 市民館のコース、もう1つは黒川神社に集まって汁守神社 県境の稜線 はるひの駅、ここから電車で新百合ヶ丘に帰ってくるコースです。いずれも健康の森の会員が企画し、案内役も務めました。

また、2日間にわたり4つの分科会の開催と、元気メッセの展示、山田土筆さんの麻生の風景画展覧会が行われました。

麻生多摩美の森の会は他区の健康の森と共に元気メッセに出展し、皆さんに健康の森をPRできたのではないかと思います。

<麻生区の展示>



## 西生田小学校5年生の「森で環境学習」が行なわれる

副会長 長 澤

「麻生区市民健康の森（鳥のさえずり公園）」と「多摩美みどりの会」の協力で、5年生約180名の[森で学ぶ]総合的な学習が12月上旬3日間にわたり行なわれました。全員が環境をテーマとして同じ内容の学習が行えるように、学習講座を森（緑）の働きなど3講座として、輪番で体験し、3日間で全講座を終了しました。

### 実施日と学習指導員

実施日時；12月5日(月)、8日(木)、9日(金)、各日 午前中の2時間

学習指導員；各日 7～9名

市民健康の森（多摩美の森の会）会員、および多摩美みどりの会会員の有志

冬の寒い時期でしたが、3日間天候に恵まれた野外学習ができ、子供たちに怪我もなく無事に終了しました。

### 3つの講座の学習内容

#### 1、環境における緑の大切さと、多摩美の森の保全活動について 副会長 平林謙三

最初に勝田会長が「西生田小学校の近くにこんなすばらしい森があります、今日は、環境に森がどんなに大切か実習をまじえての野外学習を体験して下さい」と挨拶があり、緑の学習に入りました。

この森周辺に25年前開発計画が持ち上がったとき、地域の人たちによる森を残そうという活動が始まり、今は川崎市麻生区市民健康の森（鳥のさえずり公園）となっています。

森の役割の1つ目は、鳥や虫や小動物の住処や、緑による人々の安らぎの効果。2つ目は、人間や動物が吐き出す二酸化炭素

を吸い、光の力を使って酸素を放出する効果。地球の二酸化炭素増加による温暖化防止など、環境の保全に大変貢献しています。

外国には、木を切りすぎて滅びた国や文明が沢山あります。木の成長サイクルは大変長いので、何十年何百年先の森を見据えて、保存や育成に努めたいと思います。

#### 2、森の冬を写生しよう

森のイメージといえば、ふつう緑豊かな季節の林ではないでしょうか、しかし冬の森にも命が息づいています、落葉よし、冬芽よし、木の姿もよし、と広場周辺に広がり30分間の写生を行いました。

#### 3、樹木の二酸化炭素吸着力を測定しよう

観察シート、メジャー、電卓を用意し、まず木の幹周りを測定（6人1班で大き目の木3本を測定）し、別表を使って「葉総面積値」を割り出しました。

計算式「二酸化炭素 = 葉総面積 × 吸着指数」によって、樹木が吸着した二酸化炭素を算出し、人間何人分になるかを計算。

班別に結果発表を行い、感想を述べあいました。6組18本の測定樹で約75人分の二酸化炭素を吸着し、樹木が環境改善に大きく貢献していることに感動しました。



<森の広場周辺で写生>

## 竹炭焼き奮戦記

間野 洋

今年の竹炭焼きは、去年の失敗の原因を踏まえ、次の3点を改善する事によりスタートした。

積雪時の実施は避ける。

火が全体に回らず生焼けの原因になった粕殻を使用しない。

焼く時間を十分とる。(昨年は酒宴開始をあせり、早めに切り上げたのではとの声あり)

実施日を昨年より1ヶ月早くし、1月15日 40本の竹の切り出し。1月25日 竹の切りそろえ、ドラム缶の点検、設置等の準備を行う。

2月4日 当日、9時集合。うす曇り、風強く底冷えがする。細心の注意を払い準備完了後、10時50分 勝田会長の火入れ式で炭焼き開始。火力に多少問題があるが順調に進む。14時過ぎ『こもれびの会』の幹事2名来場。煙の色、煙突の温度などの指導を受ける。16時火止め、密封のため土盛り。あとは日が暮れるまで酒談となる。

2月5日 10時集合。10時40分窯だし。11時、麻生消防署よりお二人見回りに来場、無事終了を報告。結果は窯の下部に多少の生焼けがあったが、まあまあが出来で収穫祭には出品可能となった。

窯内の熱のまわりを良くするため、煙突の位置の改良が次回の課題。最後に現地で作った団子汁で酒宴、炭焼き完了を祝った。



<初日の炭焼作業、右上は木酢液回収煙突>

## 今春の活動予定

副会長 平林謙三

寒暖の変動が激しかったこの冬も漸く終わり、花が咲き乱れる春がやって来ました。やわらかい陽光のもと、皆んなで多摩美の森を楽しみましょう。

18年度の活動予定は、正式には4月22日の第4回通常総会の議決を経て決まることですが、一応下記のように考えております。

原則は毎月第1土曜日と第3日曜日、当日が雨の場合は1週間後となります。また補助作業日として第2、第4水曜日をあて、必要に応じて作業をします。

作業時間は、6月までが10時から12時、7月以降の夏期は9時から11時です。

---

4月1日(土) 草刈り、苗木・畠の手入れ  
4月16日(日) 草刈り、里芋畠の畝立て  
4月22日(土) 第4回通常総会  
区役所4階第3会議室 16時～18時

5月6日(土) 里芋の植え付け、豆蒔き  
5月21日(日) 麦刈り  
6月3日(土) サツマイモの植え付け  
6月18日(日) 草刈り、苗木・畑の手入れ  
7月1日(土) 草刈り、苗木・畑の手入れ

なお補助作業日は4月12、26日、5月10、24日、6月14、28日です。

### 会員募集中です 貴方も仲間に

緑に包まれて森づくり、親子いっしょの作業や自然体験も楽しい。どなたでも加入できます。年会費 1000 円。体験参加も歓迎。上記の活動日において下さい。

**皆さんの投稿、感想をお寄せ下さい。**

### 連絡・投稿先

木村信夫 044-954-7855  
fwhp6921@mb.infoweb.ne.jp  
森 正昭 044-951-1089  
BYA15610@nifty.com